

令和7年度 学校経営計画・学校評価

■4月8日(火)提出

■10月2日(木)提出

■3月13日(金)提出

学校番号	17	高知追手前	高等学校	課程	全
------	----	-------	------	----	---

高知県の教育の基本理念	(1) 学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく人 (2) 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人 (3) 多様な個性や生き方を互いに認め、尊重し、協働し合う人	スクール・ミッション	スケールメリットを生かして多様な教育課程や部活動の充実を図り、特色ある拠点校として、各分野で活躍する人材を育成する。
	県立高等学校の進学をけん引する学校として、学問を深め、難関大学を含めた生徒の進路実現を図り、高い志を持ち国内外で活躍する人材を育成する。		
スクール・ポリシー	【アドミッション・ポリシー】(入学者受け入れ方針) ○自分の能力を伸ばそうとする、常に向上心を持った生徒を求めています。 ○思いやりがあり、主体的に考え行動できる生徒を求めています。 ○教科の学習の他に部活動や学校行事、ボランティア活動にも積極的に参加する生徒を求めています。 ○基本的な生活習慣を身に付け、相手の立場に立って物事を考えることのできる生徒を求めています。 ○何事にも意欲的に取り組み、一生懸命頑張ることができる生徒を求めています。	【カリキュラム・ポリシー】(教育課程の編成・実施方針) ○「知識・技能」の習得と「思考力や表現力等」を培う活動のバランスに配慮した授業を目指します。 ○総合的な探究の時間「レオプロジェクト」は、探究する力を培い教科の学習に繋がるような活動を目指します。 ○部活動や学校行事等は、生徒の自主性や主体性を育てる活動を目指します。	
	【グラデュエーション・ポリシー】(育成を目指す生徒の資質・能力) ○自己と社会との関わりから自らの「志」を見出し、将来にわたって自立的、持続的に、「志」の追求と実現に取り組むことができる生徒を育成します。 ○「志」とは、自分だけではなく周囲の人々をも幸せにする、自他の幸福を目指した志が育つよう、確かな学力と気概を持った生徒を育成します。		

学校関係者評価	
【学力の向上】 評価 【 A 】	12月の学校評価アンケート(保護者) 「授業の満足度」87%(82.8%) / 「教材研究・授業の工夫」86%(80.2%) / 「学問の奥深さ」81%(74.7%) / 「基礎学力・実力養成」90%(87.9%) / 「落ち着いた勉強できる環境」93%(93.8%) / 「学力向上のための方策」95%(93.0%)
【社会性の育成】 評価 【 A 】	12月の学校評価アンケート(保護者) 「社会のルールやマナーを育てる」94%(89.2%) / 「生徒の自主性の育成」92%(90.7%) / 「リーダー育成の努力」76%(70.5%)
【チーム学校】 評価 【 A 】	12月の学校評価アンケート(保護者) 「保護者との連携」89%(84.5%) / 「PTA活動」90%(85.9%) / 「保護者に対する進路研修」86%(78.2%)

(評価)A: 目標を十分に達成 B: 目標をほぼ達成 C: やや不十分 D: 不十分

重点項目	育成を目指す資質・能力【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	中間評価後の取組内容【P-D】	年度末評価【C】	見直しのポイント【A】
重点項目	★確かな学力 ○基礎となる知識・技能 ○思考力、判断力、表現力 ○生涯にわたって学び続ける意欲 ★自己の将来とのつながりを見通した学び ○社会の形成に主体的に参画するために必要な資質・能力 ○キャリアデザイン力(やりぬく力)	①学力定着把握検査(総合学テ11月実施) 1・2年B層以上 目標100%(R6年7月:100%) ②国公立大学合格114/228名(50%)、うち旧帝・医大10(現役、志願者15)(R6:137/216名(63%)、旧帝・医大13名) ③全国模試(進研7月3~5教科総合)偏差値60(R6:1年57.1 2年57.0 3年文系54.1、理系52.7) ④家庭学習時間 1・2年平日180分(R6:1年121分・2年122分) ⑤「将来の可能性を広げるために勉強を頑張っている」100%(R6:1年93.0% 2年94.3% 3年94.8%)	・基礎学力の定着や学問の楽しさに繋がる授業の質的向上と学習サイクルの確立 ・課題テストや定期試験への意識醸成 ・大学入試改革への対応(学校行事・レオタイム・面談等を通じた各自の目標設定) ・進路指導体系の可視化や入試情報の収集・提供の仕組みの強化	B ①進研模試(7月) 1年:95.3%、2年:99.0% ②(志望)国公立大209名(96%) うち旧帝・医大57名 (判定)国公立 A1・B9・C41・D47・E111 旧帝大・医大 A1・B1・C10・D14・E31 ③1年54.9 2年56.7 3年文系53.2 理系54.9 ④1年148分 2年124分 ⑤1年98.4% 2年91.1% 3年96.8%	B ・統一模試、難関大模試、実力テスト ・進路検討会、出願指導(面談) ・共通テスト演習、共通テスト予行 ・2次対策(補習・添削) ・岡山大訪問(1年) ・OGAプログラム・志望動機作成(2年) ・入試問題研究(3年)	B ①進研模試(11月) 1年:91.0%、2年:96.9% ②国公立大学合格(前期3/10まで) 124/224名、うち旧帝10名 ③11月 1年55.5、2年56.8、 10月 3年文系51.0、理系53.3 ④1年136分、2年121分 ⑤1年95.1%、2年92.5%、3年96.3%	・入試結果等の情報の収集と提供の仕組み強化に引き続き取り組む。 ・基礎学力の育成とともに探究活動等を通じた主体的態度を育てる取組をする。
	★豊かな心、多様性・包摂性の尊重 ○豊かな人間性・道徳性・社会性 ○他者への思いやり(地域・社会貢献、ボランティア活動等も含む)	指標(学校独自アンケート) ①学校評価「本校生としての誇り」85%(R6:81.7%) ②学校評価「人間的な成長」90%(R6:88.9%) ③心の指標「将来の夢や目標」85%(R6:80.1%)	・学校行事や部活動の充実による協調性や責任感、連帯感の育成 ・いじめ防止基本方針に基づく基本方針の共有 ・服装、挨拶、清掃等を通じた社会人としての規範意識の育成 ・レオタイムにおける課題解決・探究等を意識した取組(先達、探究発表型文化祭等) ・学びの意義や夢の実現について具体的に提示する取組	B ・学園祭への一般来客者数延べ2,200名以上 ・生徒会:定例会(週1)、コンタクトケース回収(随時) ①② 12月実施 ③ 3年81.5%	A ・総合的な探究の時間での各学年団プログラムの実施 ・学校行事や清掃等を通じた社会人としての規範意識の醸成	A ①86.9% ②91.6% ③82.3% ①②で目標値をクリア。③は目標値には届いていないものの、昨年度よりは良い数値となっている。様々な活動をととして成長がうかがえる。	明確な将来像や進路意識につながる大学訪問、レオタイム、学校行事等を通して学校生活に目標を持たせる。1年生の室内宿泊合宿も内容を改良しながら次年度も実施する。
取組項目	【取組のねらい】 ○生徒の社会的自立・社会参画に必要な資質・能力の育成 ○地域・関係機関との連携 ○県内企業を知る	指標(高知県オリジナルアンケート(3年2回目)) ①「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」80%以上(R6:76.6%) ②「地域や社会をよくするために、地域貢献活動やボランティア活動など、実際に行動している」37%以上(R6:35.3%)	・総合的な探究の時間 「人生の先達からの聞き書き」 1年生が3人1組となり、地域や卒業生の方からこれまでの足跡について聞き書きし、成果物を贈呈する活動 ・ものメッセへの参加	B ・地域社会への貢献に関する意識の高まりがあるが、地域活動やボランティア活動への参加率は低い ①1年61.9% 2年50.8% 3年68.8% ②1年19.6% 2年17.1% 3年34.4%	B ・総合的な探究の時間 「人生の先達からの聞き書き」の実施 ・ものメッセへの参加	B ①69.1% ②26.4% ②については、アンケートの実施時期が大学受験に向けて努力している時期であることから数値が下がったと考えられる。そのような中で①の数値が1回目よりも上がっていることは評価できる。	②の指標については、アンケートの実施時期を考慮し、3年1回目の数値を評価指標とする。「聞き書き」における先達との連絡や調整にはまだまだ工夫が必要である。
	【取組のねらい】 ○学習の基盤となる言語能力や情報活用能力の育成 ○各教科の学びを実社会での課題発見や解決に結び付ける力の育成	・1年生全員が教科横断的な成果物(ポスター)を提出する。 ・探究的な学びに関するアンケートでの生徒の満足度80%以上	・総合的な探究の時間 「人生の先達からの聞き書き」 現代の国語、保健、家庭基礎、公共での知識を活用して先達の人生について考察する活動	B ・授業改善チームによる各教科への呼びかけ ・総合的な学習の時間「人生の先達からの聞き書き」の準備	B ・公開授業の実施 ・総合的な探究の時間に向けた各教科での考察活動	B ・11月に実施した公開授業は大変有意義な研修の機会となった。 ・成果物や発表に一定の成果は見られる。 ・満足度 89.7%	「聞き書き」の実施時期を再度検討する必要がある。

チーム学校	取組のねらい【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	中間評価後の取組内容【P-D】	年度末評価【C】	見直しのポイント【A】
チーム学校	★学校の魅力化・特色化 ○中学生や保護者、地域から信頼され、支持される学校づくり	○魅力化・特色化の具体的な目標(指標) ・体験入学参加中学生 350人(R6:321人) ・生徒が主体となった行事の実施 年4回(R6:3回) ○学校運営協議会等の実施回数 年2回	・中学生への体験入学の実施 ・中学生・保護者への学校説明会の実施 ・中学校教員への学校説明会の実施(10校以上) ・ホームマッチ、文化祭、体育祭、学校の情報発信の充実	A ・体験入学参加予定中学生 358名(10/2、10/3実施予定) ・中学校での高校説明会実施 40校 ・中学校教員への学校説明会実施 13校 ・Instagramの開設 ・生徒が主体となった行事の実施 3回 ・学校運営協議会等の実施 1回(7/12)	A ・中学生体験入学の実施 ・Instagramでの情報発信 ・生徒が主体となった行事の実施(聞き書き) ・学校運営協議会等の実施(2/7)	A ・体験入学参加中学生 358名 ・生徒が主体となった行事の実施 年4回 ・学校運営協議会の実施 年2回 ・Instagramのフォロワー数 684(3/11現在) ・高校入試A日程志願者数 206名	PTA総会や各種研修等を毎年見直すことで内容がより充実したものになってきているため、今後も引き続き行う。学校案内等を中学生に読んでもらえるものに改善していく。
	★教職員の倫理観の堅持 ○不祥事防止対策の徹底 ○よりよい職場風土づくり ○教職員のメンタルヘルス ○不祥事発生時の適切な対応	○倫理観堅持のための具体的な目標(指標) 誤配付等による個人情報流出を防ぐため、必ず複数人、複数回で確認 ○校内研修の実施回数 年3回 ○不祥事防止委員会の実施回数 年3回	・誤配付等による個人情報流出を防ぐため、必ず複数人、複数回で確認 ・職員会等での不祥事案件の周知及び注意喚起 ・不祥事防止チェックリストの実施	B ・誤配付等による個人情報流出 0件 ・不祥事防止委員会の実施 2回(6/16、8/26) 校内研修の実施 2回(6/25、8/27) ・不祥事防止チェックリストの実施(6/25)	B ・誤配付防止のための複数人、複数回確認 ・不祥事防止校内研修の実施(10/15、11/5) ・不祥事防止チェックリストの実施	B ・誤配付等による個人情報流出 0件 ・不祥事防止委員会の実施回数 年3回 ・不祥事防止校内研修の実施 年4回	実際に不祥事が発生しているわけではないが、研修内容を充実させていく。
	★長時間勤務の解消 ○休暇の取りやすい雰囲気づくり ○業務の見直し	定期試験時や長期休業中の休暇取得率100%(全員)(R6:年間平均90%)	・部活動時間、閉門時間の順守 ・管理職の呼びかけや日頃からの思いやりを伴う声掛けの実施 ・反省職員会等で、業務改善についての意見を集約	B ・部活動時間、閉門時間の順守100% ・定期試験時の休暇取得率 定期試験期間 85.2% 夏季休業中 98.2%	B ・衛生委員会からのNO残業ウィークスや年休取得の呼びかけ ・事務処理改善に向けた見直しの継続	B ・部活動時間、閉門時間の順守100% ・定期試験時の休暇取得率 後期中間試験期間中 83.3% 学年末試験期間中 87.0%	長時間勤務については改善が難しい業務もあるが、年休等も取りやすい雰囲気づくりにもってきてきたため、休める時に休むよう声掛けを継続していく。